

令和6年度 第2回 研究調査部会 活動報告

令和6年11月29日（金）午後2時～

浦和コミュニティーセンター 第6集会室

- 1 開会の言葉 桑原裕通 副会長
- 2 会長挨拶 新井俊一 会長
- 3 部長挨拶 中村文夫 部長（議事 司会）

- 1 「実態調査」の回収状況と集計結果について
- 2 集計結果・内容の考察
 - ① 勤労意欲、特に教育への意欲が高い。新入会員の97%が再就職している。
 - ② 仕事内容は、経験を生かした学校教育分野を86.6%が選んでいる。
 - ③ 働き方の選択は、約7割がフルタイムで勤務している。
 - ④ 報酬は「20万以上40万未満」がピークで約41%を占めている
 - ⑤ 今後の働き方の希望は暫定再任用で定年まで勤めあげたい意欲を感じる。
- 3 定年延長に伴う（役職定年制）来年度の調査および活動の方向性について

【各支部からの意見・協議事項】

- 初の定年移行期にあたり、新入会員が役職定年後にどのような働き方を選択したか、どんな職種に就いたのかなど、注目していた。
- 今後どのように調査結果を生かすかなど検討していくとよい。
- 定年延長で会員の推移がどうなるかわからないが、ある程度調査を継続してから、修正・改善の方向性を探っていく。
- 給与よりボケ防止も含めて働けることがありがたいと捉えている人もいる。
- 働かざるを得ない厳しい状況がある。その中で退職後、「少し休みたい」「やることがある」など勤務から解放されたい気持ちは理解できる。
- 再任用の場合厳しい状況で苦勞されている実態もあるので、今まで積み上げてきた仕事を生かせるとよい。
- 会員の加入は班や市単位等で分担して、先輩の会員が直接学校を訪問するなどして加入の案内や勧誘を行っているが、もっと会員を増やしたい。
- 来年度にならないと、新会員数わからないが、退職校長会に「加入しない人の考え」をお聞きしたい。
- 今後の調査の内容充実や改善に向けて、調査の項目にどのような情報がほしいか、どのようなことを調べてほしいか等の要望項目を入れるとよい。

【来年度の方向性】

- 役職定年した新入会員の方々の実態調査を継続する。
- はじめての実態調査であり、調査項目や要望事項等を継続して調査し、工夫改善していく。
- 調査の項目にどのような情報がほしいか、どのようなことを調べてほしいか等を把握できる項目を設定する。

- 4 閉会の言葉 神山則幸 副会長